

製品名: FCER2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80924**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:500-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	37kDa

抗原情報

遺伝子名	FCER2
別名	CD23; FCE2; CD23A; IGEBF; CLEC4J; FCER2
遺伝子 ID	2208.0
SwissProt ID	P06734
免疫原	大腸菌で発現したヒト FCER2 の精製された組み換え断片。

背景

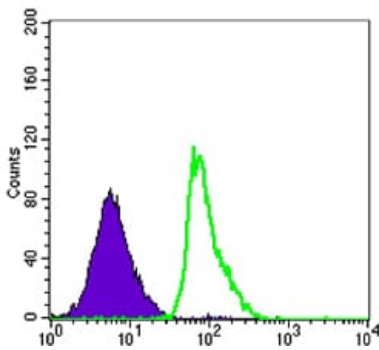
ヒト白血球分化抗原 CD23 (FCE2) は、B 細胞の活性化と増殖に重要な分子です。これは IgE の低親和性受容体です。短縮型分子は分泌され、強力な有糸分裂促進成長因子として機能します。(OMIM 提供) ほとんどの成熟した通常型 B 細胞に発現していますが (腹腔

CD5+ B 細胞には発現していません)、T 細胞、マクロファージ、血小板、EBV 変換 B リンパ芽球の表面にも見られます。CD23 の発現は、B 細胞慢性リンパ性白血病の症例の腫瘍細胞で検出されています。CD23 は濾胞外套の B 細胞に発現していますが、増殖中の胚中心細胞には発現していません。CD23 は好酸球にも発現しています。CD23 は、アレルギー反応を媒介する好塩基球や肥満細胞に見られる高親和性 IgE 受容体とは異なります。低親和性受容体は、アイソタイプ特異的な免疫調節に関与していると考えられています。CD23 表面発現の調節は、細胞、サイトカイン、抗体、および調節因子の相互作用を伴う複雑な IgE システムと一体的に機能していると考えられます。CD23 は、

研究分野

-

画像データ



FCER2 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (紫) を使用した Raji 細胞のフローサイトメトリー分析。